

第二十七回

信州安曇野能楽鑑賞会

安曇野能

能に見る平家物語

舞雜子

敦

盛

青木真由人

能

頼

政

青木道喜 宝生欣哉

狂言

寝音曲

野村 萬 (人間国宝) 野村 万之丞

能

船弁慶

片山九郎右衛門 宝生欣哉

重幸前後ノ替



平成29年 8月19日(土) 全席自由

午後2時開会 午後1時から安曇野市内の子どもたちによる能楽発表を行います。午後0時30分開場・午後6時頃終了予定

【会場】安曇野市豊科公民館ホール JR大糸線 豊科駅下車徒歩8分

【主催】信州安曇野新能実行委員会【共催】安曇野市・安曇野市教育委員会【協賛】(株)ちくま精機

【後援】長野県能楽連盟・長野県・長野県教育委員会・信濃毎日新聞社・中日新聞社・市民タイムス・大糸タイムス社・朝日新聞長野総局・読売新聞松本支局・毎日新聞松本支局・日本経済新聞社松本支局・産経新聞社長野支局・松本平タウン情報・NHK長野放送局・SBC信越放送・NBS長野放送・TSBテレビ信州・abn長野朝日放送・ANCあづみ野テレビ・あづみ野エフエム・(公財)八十二文化財団・JR東日本 長野支社

【入場料】一般 [前売]3,000円 [当日]3,500円 学生 [大学生等]1,000円 [高校生以下]500円

【聴覚障がい者の方へ】当日、字幕を表示する特殊メガネをご用意します。数に限りがございますので、利用を希望される場合は7月28日(金)までにFAXにてご予約をお願いします。

【入場券取扱い所】●市内：安曇野市穂高交流学習センターみらい・安曇野市豊科交流学習センターきぼう・安曇野市内各公民館・安曇野市観光情報センター・平安堂あづみ野店(スワンガーデン安曇野内)・明金堂書店(あやめシティ内)・イオン豊科店 ●松本市内：井上百貨店・キッセイ文化ホール ●長野市内：ながの東急百貨店・ホクト文化ホール●その他：池田町公民館・大町塩原書店・i-city21・e+(イープラス)・ファミリーマート店頭

【問い合わせ先】信州安曇野新能実行委員会事務局(安曇野市教育委員会 文化課文化振興係)〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000 番地 TEL0263(71)2463 /FAX0263(71)2338



平成29年 8月19日(土) 全席自由 午後2時開会 午後1時から安曇野市内の子供達による能楽発表を行います。
午後0時30分開場・午後6時頃終了予定

◆舞獅子 敦盛 [あつもり]

青木真由人

通生法師は、かつて合戦で平敦盛を討ち取った源氏の武将であった。ある時、法師は敦盛を弔うため、合戦の地一ノ谷に赴いた。すると、草刈男たちが現れ、そのうちの一人が敦盛の霊であることをほめかして消え失せる。その夜、弔いを行っている法師の前に敦盛の霊が現れると、平家の栄枯盛衰を語り、自身の供養を頼んで消えてゆくのだった。

◆狂言 寝音曲 [ねおんぎょく]

野村 萬 (人間国宝) 野村万之丞

ある夜、太郎冠者の謡を立ち聞きした主人は、思わず聞き惚れ、自分の前でうたうよう命じる。太郎冠者は今後もうたわされては困ると思い、酒を飲まないと声が出ない、妻の膝枕でなければできないなどと書いて渡す。謡が聞きたい主人は、太郎冠者に酒をふるまい、自分の膝に寝かせる。初めは寝ている時しかうたわれない太郎冠者だったが…。

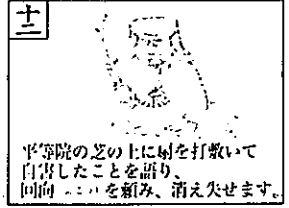
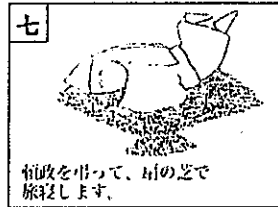
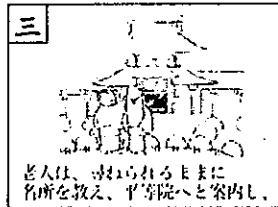
◆能 船弁慶 重キ前後ノ替 [ふなべんけい おもきぜんこのがえ]

片山九郎右衛門 宝生欣哉

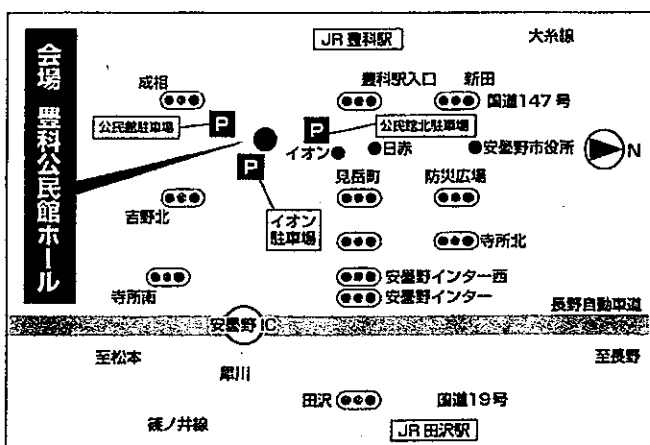
源義経は頼朝との不和により、弁慶ら家臣たちと共に落ち延びる身となった。静御前もこれに同行していたが、弁慶は彼女を都へ帰すよう義経に進言する。静は義経との別れを悲しみ、一行の前途を祈って舞うと、涙ながらに見送った。一行が船に乗り沖へ出ると、平家一門の亡霊が現れ襲いかかるが、弁慶の祈りによってこれを撃退し、一行は難を逃れるのだった。

◆能 頼政 [よりまさ] 青木道喜 宝生欣哉

旅の僧が、老人の案内で宇治の里の名所を見てまわっている。最後に平等院へやって来ると、庭の芝が扇の形に刈り残されていた。かつて源頼政が、平家軍と戦い敗れた際に、扇を敷き自害したのだと、老人は扇の芝の由来を語る。そして、今日がその命日であり、自分が頼政の霊であることを僧に告げると、老人は消えてしまう。その夜、僧の前に頼政の霊が往時の姿で現れ、合戦の様子や自身の最後を語ると、供養を頼みつつ消えてゆくのだった。



交通アクセス・チケット・プランのご案内



〔JRご利用の場合〕
松本駅まで 新宿駅から特急で約2時間30分、名古屋駅から特急で約2時間
豊科駅まで 松本駅から大糸線で約20分
〔無料送迎/バスご利用の場合〕
JR 豊科駅→豊科公民館ホールを運行します。
JR 豊科駅発：午後0時40分発、午後1時40分発(2便) ※帰りの便は当日お知らせします。
〔マイカーご利用の場合〕
駐車場については地図をご参照ください。
東京方面から 八王子IC(中央自動車道)→岡谷JCT(長野自動車道)→安曇野IC(約2時間25分)
名古屋方面から 小牧IC(中央自動車道)→岡谷JCT(長野自動車道)→安曇野IC(約2時間25分)

チケット購入方法

〔e+ (イープラス)〕
PC、スマートフォン等から <http://eplus.jp> にアクセスし、当イベント専用ページにお進みください。※事前の登録(無料)が必要となります。
〔ファミリーマート店頭〕
店頭にて設置されている「Famiポート」のトップメニューからチケットへお進みください。※操作方法については、各店舗にてお問い合わせください。
〔その他の施設・プレイガイド〕
各窓口、総合受付等にて直接ご購入いただけます。

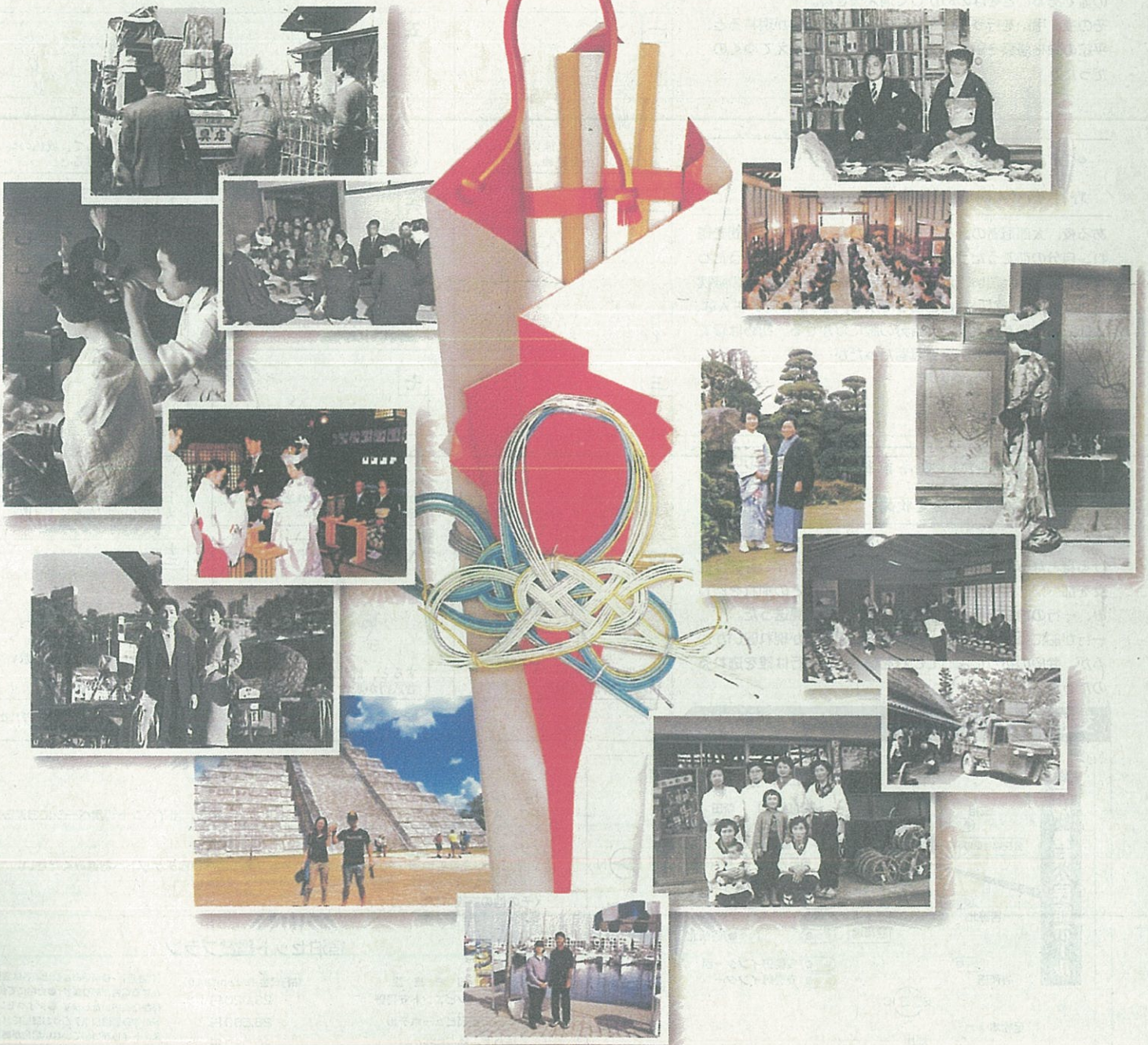
宿泊セット鑑賞プラン

宿泊施設	旅行代金(おひとりあたり)	〔ご注意〕
ホテルアンビエント安曇野	26,020円	〔ご注意〕 ※深目および出演者は変更となる場合があります。●会場にて使用がご案内いたします。●ダイヤモンドあずみ野温泉ホテルはお部屋にバス・トイレがついていない場合があります。●ダイヤモンドあずみ野温泉ホテルに宿泊の場合は、お弁当は付きません。ホテル帰還後に夕食をおとりいただけます。●旅行14日前までにお申し込みください。●旅行20日前から取消料が発生します。詳しくはお問い合わせください。
安曇野徳高ビューホテル	26,560円	
ほりでーゆー四季の郷	20,080円	
旅館 山のたご平	23,500円	
ダイヤモンドあずみ野温泉ホテル	24,300円	
山荘 歩ヶと	14,500円	
ペンションKEYAKI	16,500円	

〔代金に含まれるもの〕
宿泊代金(1泊2食)、宿泊施設・会場間送迎代金、入場チケット代金
〔お申込・お問い合わせ〕 一般社団法人 安曇野市観光協会 長野県知事登録旅行業第3-540号
TEL 0263-82-3133 ●安曇野市観光協会ホームページ、またはお電話にてお申し込みをお願いします。お申し込みの際は、お名前と生年月日、代表者のご住所・ご連絡先をお知らせください。

安曇野 人の一生Ⅱ

結婚式は誰のため?



平成29年 6月24日(土) ~ 8月20日(日)

安曇野 人の一生Ⅱ

結婚式は誰のため?

昔は男女が結婚して子を成すのは当たり前でした。結婚は家同士の結び付きが重要視され、結婚や結婚に至るまでの儀礼にも多くのしきたりがありました。

この展覧会では、主に結婚や結婚式・披露宴が現在のように多様化する以前の昭和30年代から40年代の安曇野の結婚に関する儀礼について展示をします。昔の嫁入り道具や婚衣装などのほか、江戸時代の婚礼料理の再現などさまざまな婚礼にまつわる文化をお楽しみいただけます。展覧会をとおして結婚だけではなく、人生の多様なあり方について考えてみませんか。

夏季企画展特別講演会

結婚して、よかった?

——戦後の結婚式の変化と幸せのゆくえ——

戦後、日本人の暮らしは大きく変化しました。結婚式も例外ではなく、自宅での結婚式から宗教者の介入する神前式やチャペルウェディング、そして現在は個人の価値観を反映した多様な結婚式がおこなわれています。そこで、結婚を含め、人生儀礼を多角的な視野で研究されている石井研士さんをお招きし、結婚式の移り変わりをはじめ、私たちの暮らす社会の変化から幸せな結婚とは、ひいては幸せな人生とは何か、一緒に考えてみましょう。

- 【日程】7月15日(土)午後1時30分から3時
- 【会場】豊科交流学習センター きぼう 多目的交流ホール
- 【講師】石井研士さん(国学院大学理事・副学長 神道文化学部教授)
- 【参加費】100円(資料代等)
- 【定員】150名(先着順)
- 【申込み】7月14日までに博物館へ電話にて申し込み



【略歴】
昭和29年東京生まれ
東京大学文学部宗教学宗教学科卒業
東京大学人文科学研究所宗教学宗教学博士課程修了
東京大学文学部助手
文化庁宗務課専門員
現在 国学院大学神道文化学部教員・宗教学・研究員
【専攻】宗教学・宗教社会学

- 【著作(一部)】
- 銀座の神々-都市に消け込む宗教 新曜社 平成6年(日本宗教学会賞)
 - 都市の年中行事-変容する日本人の心性 春秋社 平成6年
 - データブック 現代日本人の宗教-戦後50年の宗教意識と宗教行動 新曜社 平成9年
 - 社会変動と神社神道 太田堂 平成10年(神道宗教学会賞)
 - 日本人の一年と一生-変わりゆく日本人の心性 春秋社 平成17年
 - 結婚式-私たちの幸せの形 日本放送出版協会 平成17年
 - 増補改訂版 データブック 現代日本人の宗教 新曜社 平成19年
 - テレビと宗教 オウム以後を問う 直子 中公クラレ 平成20年
 - フレステップ宗教学 弘文堂 平成22年
 - バラエティ化する宗教 編著 青弓社 平成22年
 - 神道はどこへいくのか 編著 ベリかん社 平成22年
 - フレステップ神道学 共編 弘文堂 平成23年
 - 渋谷の神々 編著 藤山園 平成24年
 - 神さまってホントにいるの? 弘文堂 平成25年
 - 渋谷学 弘文堂 平成27年

ワークショップ・講座

体験講座

「目で目で!江戸時代の婚礼料理を五感で楽しむ」

安曇野の古文書に残された200年前の婚礼料理の献立を再現します。あなたの目で舌で実際に味わってみませんか?

- 【日程】第1回6月27日(火)・第2回7月6日(木)・第3回7月15日(土)
 - 【時間・会場】午前10時30分~11時10分(博物館展示室にて展覧会解説)
午前11時30分~午後1時30分(功屋会館にて婚礼料理体験)
 - 【参加費】5,000円(税込・食事体験実費は功屋会館にて支払・ほか必要博物館入館料)
 - 【申込み】各回10日前までに博物館へ電話にて申し込み
 - 【申込期限】第1回6月17日(土)・第2回6月27日(火)・第3回7月5日(水)まで
- ※各回、10名以上の申し込みで催行します。
また、博物館から功屋会館までは各自移動していただきます(徒歩10分ほど)
※時間・会場・参加費は各回共通。

ワークショップとふるまい

「落ち着きのおじや」

- 【日程】7月22日(土)午前9時30分から11時
 - 【会場】豊科保健センター
 - 【参加費】200円(材料費等)
 - 【内容】昔の婚礼の際、花嫁が婚家で初めて「日」にした「落ち着きのおじや」を作って食べる
 - 【定員】20名(先着順)
 - 【申込み】6月24日(土)~7月20日(木)に博物館へ電話にて申し込み
- ふるまいは12時ころ博物館でおこないます。(30食限定・入館者に限る)

夜の博物館

「博物館で肝試し」

お盆は地獄の釜蓋が開きご先祖様が帰ってくる時。夕闇の博物館はトワイライトゾーンに変わります。勇氣のあるキミの参加を待っています。

- 【日程】8月10日(木)午後5時30分から
- 【会場】豊科郷土博物館
- 【参加費】100円(ローソク制作費等・ほか要入館料)
- 【内容】手作りローソク制作後、博物館で肝試しをします。
- 【定員】30名(先着順・小学校低学年以下のお子様は保護者同伴)
- 【申込み】7月11日(火)~8月8日(木)に博物館へ電話にて申し込み

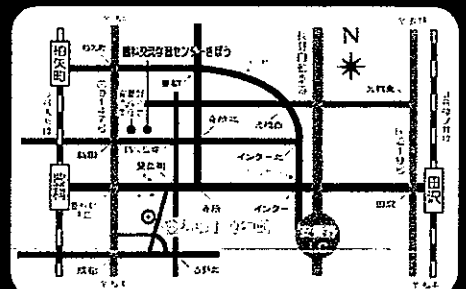
※すべてのイベント・ワークショップの申し込み受付は、博物館の開館日・開館時間内となりますので、お気を付けてください

〒399-8205 長野県安曇野市豊科 4289-8
tel: 0263-72-5672 fax: 0263-72-7772

AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM
安曇野市豊科郷土博物館

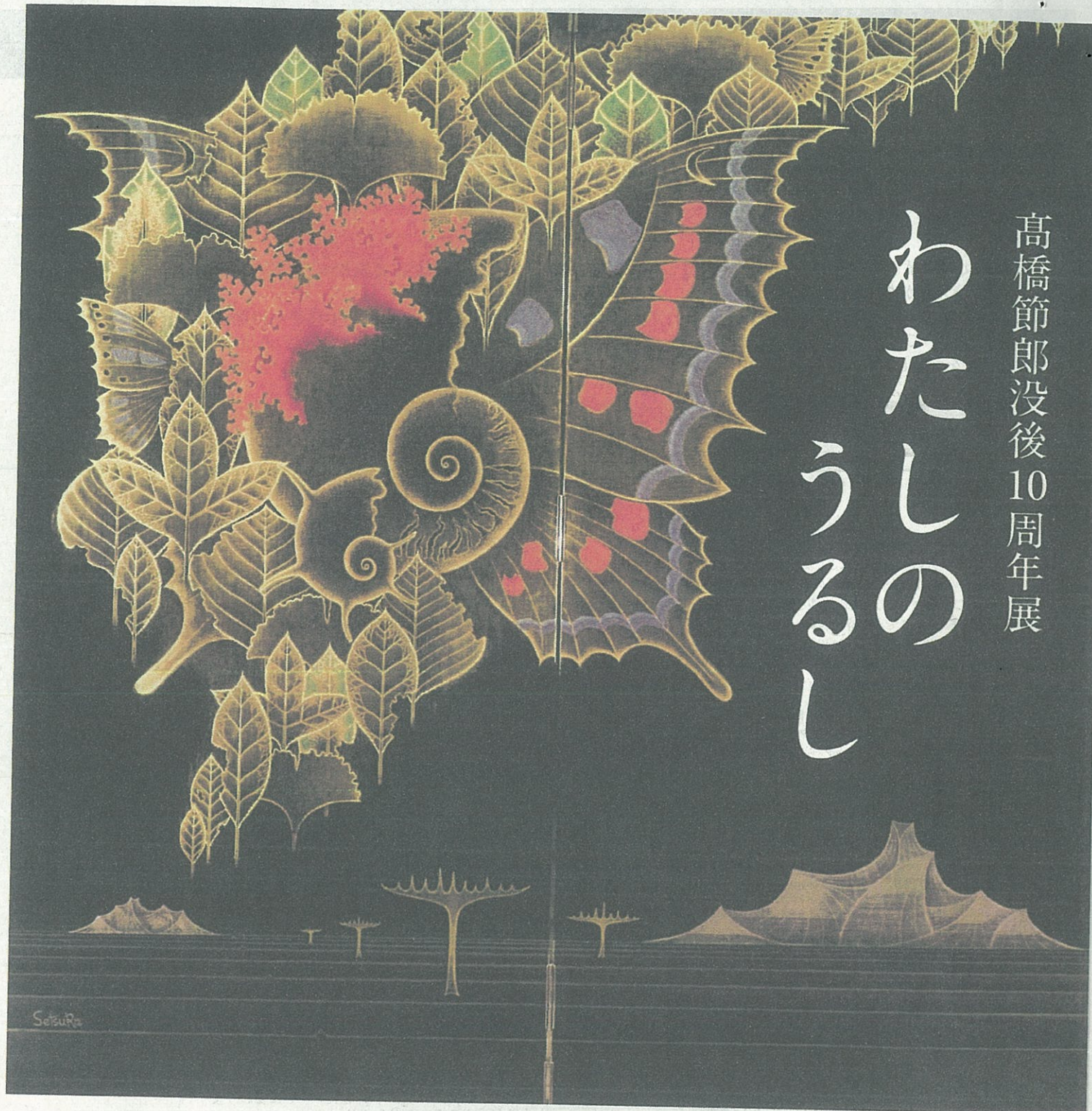
- 【開館時間】午前9時~午後5時(入館は午後1時半まで)
- 【入館料】大人100円(20名以上の団体は1名につき80円)・中学生以下・市内在住の70歳以上の方は無料
- 【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日・8・12は開館)
- 【アクセス】JR大糸線豊科駅より徒歩15分・JR谷ノ月駅田原駅より車で10分・長野自動車道安曇野ICより車で5分

http://azuminohaku.jp



高橋節郎没後10周年展

わたしの うるし



北石映像 1970年 個人蔵

平成29年 6月17日(土)～8月20日(日) 開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日) 6/16は臨時休館 8/14は臨時開館(17:00～21:00まで夜間延長・入場無料)

観覧料 一般 600円(団体・割引 500円) 高校・大学生 400円(団体・割引 300円)
中学生以下、70歳以上の安曇野市民、障がい者及びその介助者1名 無料

主催: 安曇野高橋節郎記念美術館、安曇野市教育委員会

後援: 信濃毎日新聞社・朝日新聞松本支局・中日新聞社・日本経済新聞社松本支局・毎日新聞松本支局・読売新聞松本支局・大糸タイムス社・市民タイムス・産経新聞長野支局・松本平タウン情報・新報新聞社・時事通信社松本支局・長野日報社・SBC信越放送・NHK長野放送局・NBS長野放送・TBSテレビ信州・aba長野朝日放送・ANCあづみ野テレビ・あづみ野エフエム放送(順不同)

安曇野高橋節郎記念美術館 〒399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高408-1 電話 0263-81-3030 FAX 0263-82-0551
URL <http://www.city.azumino.nagano.jp/site/seturo-muse/>

高橋節郎没後10周年展 わたしのうるし

高橋節郎(1914-2007)は、漆を駆使した芸術家として若年期より活躍を示し、漆工作品に斬新なアイデアを取り入れ続けながら優れた芸術作品を発表しました。1953年、独自の表現を切り開き続けるため、デザイナーとして勤務していた企業を辞し、アーティストとしての活動に専念します。翌年、松本市内に住む親類を中心に、郷土期待の芸術家高橋を支援するための後援会が組織され、松本市の画廊で初の個展が開催されました。これらの機会に故郷の人々が高橋の作品を求め、その創作活動を応援したのです。その後も、高橋は自身の活動を支えた人々への恩返しをするかのように、目覚ましい活躍を続け、現代工芸界を牽引し、芸術活動へ多大なる貢献をしました。

この度の展覧会では、高橋の没後10年の節目にあわせ、今も個人の方が大切に所蔵されている高橋作品を中心に構成し、高橋芸術の知られざる数々の作品をご紹介します。



〔剛〕1938年 個人蔵



《古墳星河》1983年 漆屏風 個人蔵



〔生〕1987年 漆版画 個人蔵



〔踊り子〕制作年不詳 漆パネル 個人蔵



《門の中の雨》1987年 漆盤 個人蔵



《器皿のある静物》制作年不詳 漆パネル 個人蔵



《天恵》1987年 漆パネル 個人蔵

会期中のイベント

企画展オープニングコンサート

6月17日(土) 15時~

会場: 記念美術館主屋

出演: 古川 愛 (ヴァイオリン)

観覧: 無料(展覧会の観覧は有料)

企画展記念講演会

7月17日(月・祝) 14時~15時

会場: 記念美術館主屋

講師: 元三越本店美術部工芸部長、元永青文庫常務理事
中島洋一

演題: 「平成九年秋 パリ高橋節郎展」

沈金うるしパネル講座「漆黒に輝く金」

7月1日(土)、7月2日(日) 9時30分~15時30分 ※1日の工程

講師: 東京藝術大学漆芸研究室 松崎森平ほか

参加料: 4,000円

定員: 各日10名(定員になり次第締め切り)

受付: 6月13日(火)~6月29日(木)までの間に電話にて申し込み

講座「沈金ペンダント・キーホルダーづくり」

直径5cmの円形の漆のペンダント・キーホルダーを沈金により彩ります。

7月22日(土)、7月23日(日) ※2時間半の工程

午前の部: 9時30分~12時、午後の部: 13時30分~16時

講師: 東京藝術大学漆芸研究室 小田伊織ほか

参加料: 1,500円

定員: 各10名(定員になり次第締め切り)

受付: 7月4日(火)~7月20日(木)までの間に電話にて申し込み

夜のミュージアム(コンサート・安曇野花火見物)

8月14日(月)は臨時開館。17時~21時は入館無料

○コンサート: 18時~19時 ○花火見物会: 19時~



高橋節郎(1914-2007年) 漆芸術家

長野県安曇野市(旧北穂高村)に生まれる。東京美術学校(現東京藝術大学)漆工部を卒業し、研究科を修了。日展や日本現代工芸美術展などを主な活躍の場として斬新な漆工美術作品を発表し続けた。日本芸術院会員、東京藝術大学名誉教授、日展顧問、信州美術協会会長などを務めた。1997年文化勲章受章。安曇野市名誉市民。

アクセス [車] 長野自動車道安曇野ICから20分

[JR] 大糸線穂高駅からタクシーで10分、レンタサイクル20分

有明駅から徒歩25分

篠ノ井線明科駅からタクシーで15分

ANZUMINO ART LINE
安曇野アートライン



安曇野高橋節郎記念美術館

〒399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高408-1

電話 0263-81-3030 FAX 0263-82-0551

URL <http://www.city.azumino.nagano.jp/site/setsuro-muse/>

割引券

■団体料金でご入場できます
■本券1枚でお一人様有効

高橋節郎没後10周年展

わたしのうるし